

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年09月30日

計画の名称	小樽港における安全・安心な港湾環境の形成（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	小樽市											
計画の目標	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の計画的な改良を行い、安全・安心な港湾環境の形成を目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	864	A	864	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	施設利用に支障が生じている第2号ふ頭岸壁の改良達成率を42%から100%に拡大し、施設の安全性の確保を図る。 岸壁の改良達成率を算出する。 (岸壁の改良達成率) = (安全性が確保された岸壁の延長(160m) / (改良が必要な岸壁の総延長(160m)))	42%	42%	100%
2	臨港道路小樽港縦貫線の道路改良達成率を29%から100%に拡大し、施設の安全性の確保を図る。 臨港道路の改良達成率を算出する。 (臨港道路の改良達成率) = (安全性が確保された臨港道路の延長(1018m) / (改良が必要な臨港道路の総延長(1018m)))	29%	72%	100%
3	安全性が低下し、立入禁止措置を講じている色内ふ頭護岸の改良達成率を44%から100%に拡大し、施設の安全性の確保を図る。 護岸の改良達成率を算出する。 (護岸の改良達成率) = (安全性が確保された護岸の延長(50m) / (改良が必要な護岸の総延長(50m)))	44%	100%	100%
4	若竹地区防波堤の改良達成率を0%から100%に拡大し、施設の安全性の確保を図る。 防波堤の改良達成率を算出する。 (防波堤の改良達成率) = (安全性が確保された防波堤の延長(93m) / (改良が必要な防波堤の総延長(93m)))	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
小樽市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業A02-001、A02-002、A02-003、A02-004												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	岸壁(-9m)の改良(付帯施設改良)	L=160m	小樽港中央地区						86	-	
	A02-002	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	臨港道路の改良	L=1018m	小樽港手宮地区 ・勝納地区・中央地区						168	-	
	A02-003	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	護岸の改良	L=50m(陸上地盤改良工)	小樽港手宮地区						121	-	
	A02-004	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	防波堤の改良	L=93m	小樽港若竹地区						489	-	
												小計						864	
												合計						864	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	30	20			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	30	20			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	28	19			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	2	1			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.66	5			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					